(通巻3830号/毎週日曜日発行/2025.5.11) キリスト品川教会 品川区北品川4-7-40 TEL03(3443)1721

●復活後第三主日

泉のほとり

今月の詩編「第九十六編」

主は来られる、
　地を裁くために来られる。
主は世界を正しく裁き
　真実をもって諸国の民を裁かれる。

わたしに従いなさい

復活の主が弟子たちに現れた3度目、ご自身を3度も知らないと否認したペテロに「ヨハネの子シモン、この人たち以上にわたしを愛しているか」と問われました。ペテロが「はい、主よ、私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」と答えると、主は「わたしの子羊を養いなさい」と言われました。再度、主が「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか」と問われると、ペテロは今度も「はい、主よ、私があなたを愛していることはあなたがご存じです」と答えました。主は「わたしの羊の牧しなさい」と告げられました。

ところが、主が3度目も「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか」と問われると、ペテロはこの3度目には悲しみながら答えました。「主よ、あなたは何もかもご存じです。私があなたを愛していることをあなたは知っておられます」と。この3度目に「愛しているか」に対し、ペテロは「はい」と答えていません。「あなたは何もかもご存知です」と答えたのです。

かつて「死んでもついて行きます。あなたのためにいのちを捨てます」と断言していたペテロです。主を否認するようなことは決してないと、自分のことを自分はよく知っているつもりでした。しかし、主が「鶏が2度鳴く前に、あなたは3度、わたしを知らないと言う」と告げられ通りにしてしまったのです。自分のことを自分は知らず、主こそその自分のことまでも、何もかもをご存じでした。

この3度目に「わたしを愛しているか」と聞かれた時、ペテロが悲しみ、心痛めながら答えたのは、3度、主を否認したことを思い起こしたからです。それゆえに「はい、愛しています」とも表せず、「あなたがすべてをご存知です」と答えるペテロ。以前のような強い、固い主への「愛の告白」はありませんが、以前のペテロには見られないものがあるのです。なお、以前よりも純粋で、混じり気のないペテロが主イエスの前にいると感じられるのです。

主イエスを知らないと言う、そのようなことは決してあってはならないことです。しかし、ペテロが知った深い傷、凄絶な悲しみと痛み、生きる望みさえ失うほどの自分自身へのつまずきと挫折を知らなかったとしたら、どうでしょうか。主はペテロがそのような凄絶な悲しみの只中を通ることを知っておられながら、それを避けられる道はお示しになりませんでした。ただ、主イエスを否認し、自分自身につまずき、深い悲しみの中を通るペテロを知り、その日の夕方に彼の足を洗ってくださったのでした。

「この人たちが皆、つまずいても私は決してつまずかない。死んでもついて行きます」と告白した時のペテロにではなく、「はい、愛しています」とも言えない、「あなたがすべてをご存知です」と答えるペテロに、主イエスはご自身の子羊、羊たちを委ねられたことを記憶したいのです。そのペテロに、十字架で命の代償に、贖われたご自身の羊たちを委ねられたほどの信頼が示されているのです。

それから、主は「あなたは、若いときは、自分で帯を締めて、行きたいところへ行っていた。しかし、年をとると、両手を伸ばして、他の人に帯を締められ、行きたくないところへ連れて行かれる」と、ペテロがどのような死に方で、神の栄光を表すことかについて語ってくださいました。

主は3度、主を知らないと言ったあの出来事を知っておられながら、その挫折と凄絶な痛みを通らせました。深い悲しみと痛みを通過するペテロの足を洗ってくださった主イエスが、究極的にはそのペテロをご自分のようによい牧者としてくださったことを見るのです。

以前のペテロも、後も、すべてをご存知の主の導きの深さ、広さ、高さを思うのです。その主イエスが牧者であられます。感謝し、喜び、このよい牧者が告げられるすべてに従って歩んでいきたい。悲しい、涙のパンを食べるような経験をする時にお助けにならないこの羊飼いは、私のすべてを知っておられ、その後をも見据え、人が計り知り得ない良いものを備えられる羊飼いです。この牧者の深い導きと癒しにすがりついていきたい。私たちもこの牧者のようになっていきたいと心から願うものです。

（ヨハネ二一・一四～二五 黄 允湜 牧師）

２０２５年度
教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、
愛と交わりを通して
お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○交わりの会(説教の恵みを語る会)を一二時(目途)から地下ホールで行います。

○役員懇談会を一三時(目途)から地下ホールで行います。役員の方はお集まりください。

○次回の洗礼式、転入会式は七月二〇日です。その時に受洗・転入会をご希望の方は願書をお書きになり、五月一八日(日)までに牧師宛ご提出ください。願書は事務所にあります。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

《教会学校より》

市橋先生のお話の会 お知らせ

教会学校では、次々週、五月二五日にケニアの市橋先生をお迎えして子ども礼拝後合同分級を持ち、お話を伺います。なかなか持てないチャンスですので教会の皆様にもご案内申し上げます。

・日時 五月二五日(日)九時二〇分～一〇時二〇分
・場所 地下ホール
・当日の流れ
子ども礼拝 礼拝説教 宮間 彰広 兄
←
分級 お話 市橋隆雄 牧師

※教育プログラムですので、礼拝からご参加ください。やむをえず分級から参加なさる方は、ホール外で礼拝の終了をお待ちいただき、静かに入室してくださいますよう、お願い申し上げます。

《交読詩篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。
(司・会)の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇九十六篇】

新しい歌を主に向かって歌え。
全地よ、主に向かって歌え。
主に向かって歌い、御名をたたえよ。
日から日へ、御救いの良い知らせを告げよ。
国々に主の栄光を語り伝えよ
諸国の民にその驚くべき御業を。
大いなる主、大いに賛美される主
神々を超えて、最も畏るべき方。
諸国の民の神々はすべてむなしい。
主は天を造られ
御前には栄光と輝きがあり
聖所には力と光輝がある。
諸国の民よ、こぞって主に帰せよ
栄光と力を主に帰せよ。
御名の栄光を主に帰せよ。
供え物を携えて神の庭に入り
聖なる輝きに満ちる主にひれ伏せ。
全地よ、御前におののけ。

国々にふれて言え、主こそ王と。
世界は固く据えられ、
決して揺らぐことがない。
主は諸国の民を公平に裁かれる。
天よ、喜び祝え、地よ、喜び躍れ
海とそこに満ちるものよ、とどろけ
野とそこにあるすべてのものよ、喜び勇め
森の木々よ、共に喜び歌え
主を迎えて。
主は来られる、地を裁くために来られる。
(司・会)
主は世界を正しく裁き
真実をもって諸国の民を裁かれる。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）
説　教　「神の招きに応えて」
聖　書　マタイ22章1～14節
説教者　宮間 彰広 兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）
説　教　「その日その時を」
聖　書　マタイ25章1～13節
説教者　吉村 和雄 名誉牧師

●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）
讃美歌　148番　322番
説　教　「まことの神に聞き従う」
聖　書　使徒7章38～43節
説教者　宮間 彰広 兄

主日礼拝 (午前１０時３０分)

讃美歌　　１５４番　　３３９番
説　教　　「試練を喜びとする」
聖　書　　ヤコブ１章１～４節(新約 P.421)
司　式　　山下 純一 兄
聖餐司式　黄 允湜 牧師
説教者　　黄 允湜 牧師

前奏曲「キリストは死の縄目につき」J.S.ﾊﾞｯﾊ

○讃美歌１５４番

1.地よ、声たかく 告げ知らせよ
　きょうイエス君は よみがえれり
　いのちの君は あまつ園に
　われらを召して 入れたまえり
2.とこよのひかり てりかがやく
　みくらにいます 君を仰がん
　あめより洩るる かちうたにぞ
　地なるわれらも 声をあわせん
3.あめよ、よろこべ つちよ うたえ
　ものみなともに ほめたたえよ
　イエス君きょうぞ よみがえれる
　ああかぎりなき さかえの日よ

アーメン

○聖歌隊による讃美
「死の鎖を」　12世紀ドイツ賛美歌

1．死の鎖を 解き放ちて
　救い主イエスこそ
　よみがえりましぬ
　主よ 憐みたまえや
2．よみがえり無くば
　なお死せる身を
　死に勝ちし主は
　生かしめたまえり
　主よ 憐みたまえや
3．死の鎖を 解き放てる
　救いの主(ぬし)をぞ
　我ら褒めたたえん　ハレルヤ

○讃美歌３３９番

1.君なるイエスよ けがれし我を
　洗いきよめて めぐみを賜え
　わが日 わが時 わがもの皆は
　今よりとわに 君のものなり
2.わが手は君の み業をならい
　われの歩みは み跡をふみて
　いそしみ進み 主の御力に
　常にたよりて 強からしめよ
3.われの舌をば すくいの主の
　恵みをうたう 器となして
　わが口唇に よき音ずれを
　溢るるばかり 満しめたまえ
4.黄金 しろがね 知恵も力も
　献げまつれば みな取り用い
　我のこころを 宝座となして
　み旨のままに 治めたまえり　　アーメン

聖餐曲「主は全ての罪のために」S.ｶﾙｸ=ｴﾗｰﾄ

後奏曲「メック氏による協奏曲」J.G.ｳﾞｧﾙﾀｰ